

すくわくプログラム推進事業実践報告書

所在地	東京都新宿区払方町 19-1 エムジー市ヶ谷ビル 2階 3階
施設名	ポピンズナーサリースクール市ヶ谷

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育～牛乳について学ぶ～（雪印メグミルク株式会社様より）

<テーマの設定理由>

四ッ谷方面に散歩に行く際、ビルの上に雪印のマークがあることに気付き、興味を示す様子が見受けられた。また、雪印様のサイトを調べてみると、牛乳についての食育の出前授業を行っているという情報を知った。お子様の毎日のおやつで牛乳が出るため、身近なものについてお子様たちに知って欲しいと考え、出前授業をお願いした。

2. 活動スケジュール

2025年4月 雪印株式会社の向かい側を通り、雪印のマークに興味を持つ
2025年5月 申し込むフォームより、食育出前授業の申し込みをする
2025年8月14日 事前学習
2025年8月19日 食育出前授業の開催

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

牛乳パックを見せながら、牛乳の味を思い出してみたり、牛乳を使ってできる食材を調べてみたりした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

牛乳にはジュースやお茶よりも多くのカルシウムが入っていることを知った。骨の絵の量で違いを見せてくださったことで、子どもたちは理解できていた。次に、牛1頭から毎日牛乳パック30本分程の牛乳をいただいているということを知り、感謝の気持ちを持つべきだということを知った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「牛乳パックは紙だから、段ボールに牛乳を入れてもしみてこないのでは？」という質問が上がっていた。紙パックは3種類の紙を使ってしみて来ないようにできているということを教えてもらおうと、納得している様子だった。

他にも「小学校で飲む牛乳はどうしてストローがないの？」「牛乳はお母さん牛からしか出ないの？」「どうして赤ちゃんはミルクを飲むの？」と様々な質問があがり、それぞれに皆興味を示していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

牛乳で作られた食材（バターやヨーグルト）はどのようにして作られているのかを、今回は直接伺えなかったため、今後の課題として子どもたちと一緒に学びを深めていきたいと思った。